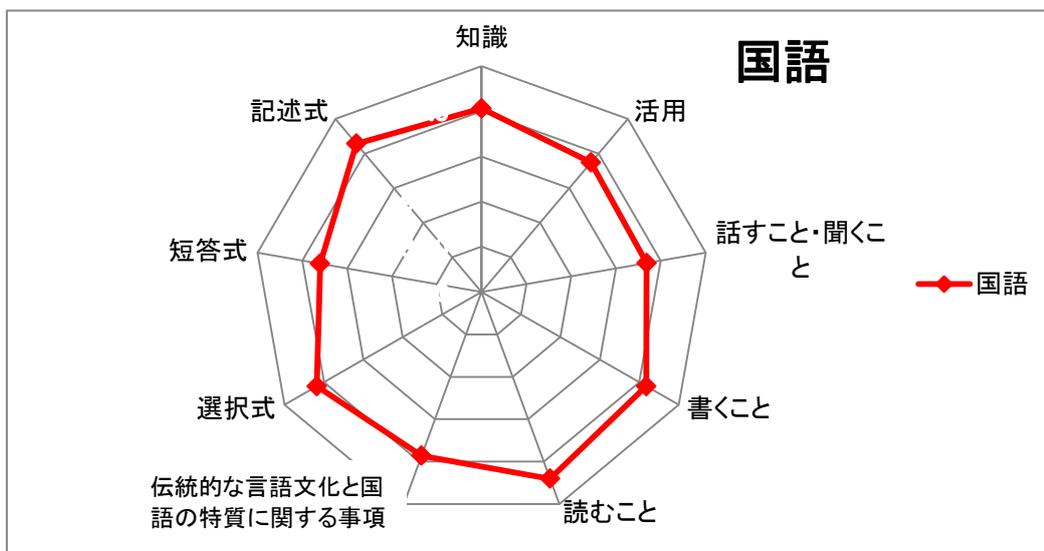


下のグラフは、本校の各教科の点数を「問題A」、「問題B」、「領域」、「問題形式」の4分野に分けてグラフにしたものです。全9項目の数値を平均したとき、よくできていた部分と不十分な部分が見えるようになります。グラフ点が外側にあるほど「よくできていた部分」、「強い部分」で、逆に内側ほど「不十分な部分」、「弱い」ところであるといえます。これにより、本校での国語、数学において、どの部分が優れており、どの部分が改善を必要とするのか一目でわかります。

- ・国語では、「活用(B学力)」より「知識(A学力)」の方が上回っている。
 - ・国語では、「読むこと」に優れ、「記述式」の問題で力を発揮できている。
 - ・国語では、「話すこと・聞くこと」は劣り、「短答式」の問題では力を発揮できていない。
 - ・数学では、「知識(A学力)」より「活用(B学力)」の方が上回っている。
 - ・数学では、「関数」領域は大変優れており、「選択式」の問題で力を発揮できている。
 - ・数学では、「資料の活用」の力が著しく劣り、「短答式」の問題では力を発揮できていない。
- ということがいえると思われまます。

中学校国語



中学校数学

